

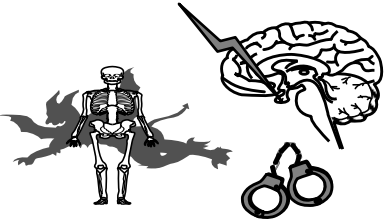
# ⑫ 薬物犯罪防止は万全ですか

## 1 薬物犯罪防止は、なぜ必要なの？

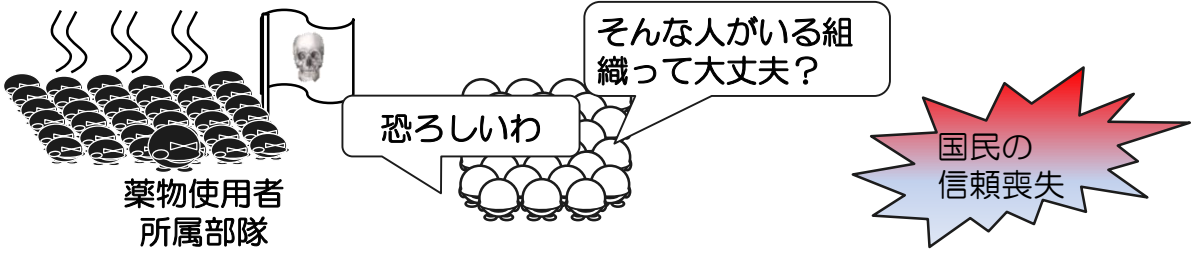
薬物の使用は、薬物使用者の健康や人生に重大な影響を与えるだけでなく、自衛隊が武器・弾薬を取り扱う集団であることから、国民からの信頼喪失をはじめ、国民や防衛省・自衛隊に対しても重大な影響を与えることとなります。

薬物使用者に対する重大な影響

- 脳へのダメージ、幻覚、中毒死等
- 幻覚・妄想による暴力、殺人、薬物購入費による生活破綻等
- 刑罰、懲戒処分等



国民や防衛省・自衛隊に対する重大な影響



### 【薬物の種類（処罰の一例）】

#### 大麻

5年以下の懲役（所持等）  
7年以下の懲役（栽培）  
【大麻取締法】



#### 覚せい剤

10年以下の懲役（所持・使用等）  
【覚せい剤取締法】



#### MDMA

7年以下の懲役（所持・使用等）  
【麻薬及び向精神薬取締法】



#### その他の薬物

コカイン

LSD

ヘロイン

マジックマッシュルームと称されている幻覚性きのこ

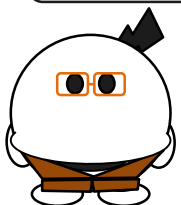
【麻薬及び向精神薬取締法】

合法ハーブ等と称して販売される薬物（いわゆる危険ドラッグ）

【医薬品医療機器等法】

あへん

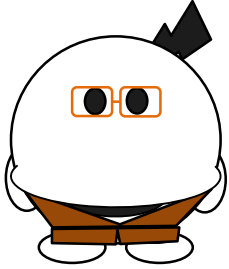
【あへん法】



大麻、覚せい剤、MDMAだけでなく「危険ドラッグ」等その他の薬物も含め、これらを使用するだけでなく、購入し、所持し、譲り受けるだけで犯罪なんだよ。気を付けよう！！

## ⑫ 薬物犯罪防止は万全ですか

### 2 心掛けるポイントは？



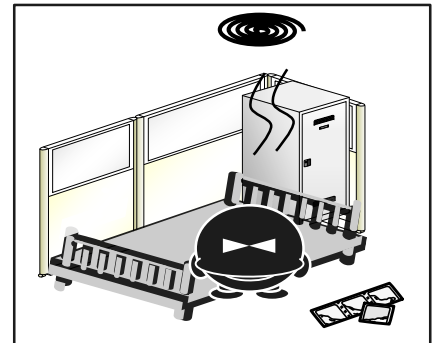
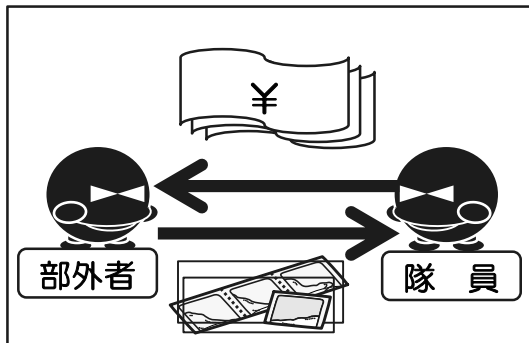
以下の事項が心掛けるポイントになるんだろうね。

- 違法薬物に興味や好奇心を持たない。持たせない。
- 違法薬物を使用しない。させない。
- 違法薬物の使用が犯罪行為であること
- 自分や家族の人生に重大な結果をもたらし、組織や家族に多大な迷惑をかけてしまうこと など

違法薬物の使用がたとえ1回であっても「免職」処分になる重大な服務規律違反であることを認識しなければなりません。

また、同僚などの薬物使用等に遭遇した場合は、まず、指揮系統上、直属の上司に報告する必要があります。ただし、対応が遅延するおそれがある場合、相談窓口（各自衛隊の警務隊）及び公益通報窓口等に速やかに通報することが必要です。

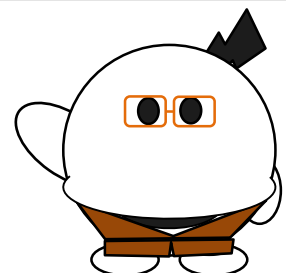
### 3 違反事例



帰省先の都市部路上において部外者から覚せい剤を購入し、駐屯地外（ホテル等）や駐屯地内（生活隊舎居室）で使用した。【免職】

この事例においては、以下の事項が問題だよ！

- 興味や好奇心で部外者やインターネット等を通じて覚せい剤などの違法薬物の購入
- 駐屯地内外における使用・所持など



【その他の違反事例】

- 友人から薬物を勧められ、興味本位から薬物を使用した。
- 他者から誘われて、好奇心から薬物を買って使用した。
- 演習場に自生していた大麻草を持ち帰り、駐屯地内で吸引した。